

J:COMホール八王子(市民会館)

施設名		J:COMホール八王子(市民会館)											
視点	評価項目	6月			9月			12月			3月(年間)		
		所管課 評価	所管課 コメント	指定管理者 自己評価(コメント)	所管課 評価	所管課 コメント	指定管理者 自己評価(コメント)	所管課 評価	所管課 コメント	指定管理者 自己評価(コメント)	期末 評価	所管課 コメント	指定管理者 自己評価(コメント)
施設の管理・運営を安定して行うことができるか	舞台安全管理研修 1回/年	-	年度末の数値をもって評価する。	第一四半期での実績なし	B	9/21 舞台安全研修(13名参加)	-	第三四半期での実績なし	B	【年間1回実施した】 (第四四半期での実績なし)			
	定量的 スキルアップ研修 3回/年	-	年度末の数値をもって評価する。	第一四半期での実績なし	B	8/16 清掃インスペクション管理者研修(4名参加)	A	目標を上回る回数研修を実施し、スキルや意識の向上に努めていた。 10/7 YAMAHA音響セミナー(1名参加) 10/26 舞台音響入門講座(1名参加) 12/3 NHK技術研究所映像研修(1名参加)	A	目標を上回る回数研修を行い、スキルや意識の向上に努めた。積極的に評価した。 【年間7回実施した】 (第四四半期実績) 1/6 マナー研修(13名参加) 1/6 マイノリティ研修(21名参加) 3/16 清掃スタッフ実技研修(10名参加)			
	甲種防火管理者、職長・安全衛生責任者教育修了者、第3級陸上特殊無線技士、上級救命技能認定者、サービス介助士、防災介助士、舞台機構調整技能士など、各資格取得者の適正配置をすとも新規取得に努める。	B	事業計画書に沿って、適正に有資格者を配置した。 6/21 上級救命講習(1名新規取得)	B	事業計画書に沿って、適正に有資格者を配置した。 9/14 上級救命講習(1名再取得) 9/14 防火防災管理者講習(1名新規取得)	B	事業計画書に沿って、適正に有資格者を配置した。 10/12 上級救命講習(1名再取得)	B	【年間を通して有資格者を適切に配置するとともに、資格の新規取得に努めた】 (第四四半期実績) 2/19 第三級陸上特殊無線技士(1名新規取得)				
	団体の経営方針が明確であり、きちんとした経理がされていること	B	管理業務の実施に係る固有の銀行口座を開設しているか 【確認資料例：銀行口座】	B	管理業務の実施に関わる固有の銀行口座を開設しており、継続して使用している。	B	管理業務の実施に関わる固有の銀行口座を開設しており、継続して使用している。	B	【管理業務の実施に関わる固有の銀行口座を開設しており、継続して使用した】				
	資金の適正な管理と経理内容の明確化が図られているか 【確認資料例：独立した会計帳簿】	B	資金の適正な管理と経理内容の明確化が図られているか 【確認資料例：独立した会計帳簿】	B	ホールの経理システムを使用し、効率化、明確化を図っている。	B	ホールの経理システムを使用し、効率化、明確化を図っている。	B	【年間を通してホールの経理システムを使用し、効率化、明確化を図った】				
	利用料金、使用料の徴収は適正に行われているか【確認資料例：独立した会計帳簿・日報、月報・使用料等収納(徴収)事務委託契約書・銀行口座】	B	適正に行っている。	B	適正に行っている。	B	適正に行っている。	B	【年間を通して利用料金の徴収を適切に行った】				
	収支計画が適正であること	B	収支計画が適正に執行されているか 【確認資料例：事業計画書(収支計画)・事業報告書】	B	市の所管課との定例会議で月次報告書の提出及び利用状況、予算の執行状況等の報告を行っている。	B	市の所管課との定例会議で月次報告書の提出及び利用状況、予算の執行状況等の報告を行っている。	B	【年間を通して収支計画に沿って適正に執行するとともに、定例会議で執行状況等を市に報告した】				
	管理運営がきちんとできる職員体制や研修体制がとれていること	A	業務を実施するにあたり、適切な人員配置や育成がなされているか 【確認資料例：事業計画書(人員配置計画)・事業報告書・研修報告書・実地調査】	A	市・指定管理施設間での舞台技術に関する情報共有・意見交換を行い、常に技術力の保持・向上に繋げていることを評価する。 各館技術担当者をメンバーに「ホール会議」を月1回WEB会議で行なっている。事故情報や運営の問題点等、常に最新の情報を共有し、J:COMホール八王子の管理運営に活かしている。	A	年度内を通じて継続して情報共有を行いつながりながら舞台技術力の維持・向上に努めていることを評価する。 各館技術担当者をメンバーに「ホール会議」を月1回WEB会議で行なっている。事故情報や運営の問題点等、常に最新の情報を共有し、J:COMホール八王子の管理運営に活かしている。	A	年度内を通じて継続して情報共有を行いつながりながら舞台技術力の維持・向上に努めていることを評価する。 指定管理者が管理する、他自治体の施設での不具合や事故の事例など情報共有し、本施設での管理運営に活かしている。強みを活かした取り組みとして評価したい。	A	【年間を通して適切な人員配置や育成を行った】		
	給与の支出が適切に行われているか 【確認資料例：給与規程・賞金台帳】	B	給与の支出が適切に行われているか 【確認資料例：給与規程・賞金台帳】	B	適切に行っている。	B	適切に行っている。	B	適切に行っている。	B	【年間を通して給与の支出を適切に行った】		
	施設の管理運営を安定して行う能力を有しているか	B	事業者の経営状況が健全な状態であるか 【確認資料例：財務諸表・財務評価表】	B	新型コロナウイルス感染拡大の影響で厳しい経営状況であるが、施設の管理・運営は支障なく行っている。	B	新型コロナウイルス感染拡大の影響で厳しい経営状況であるが、施設の管理・運営は支障なく行っている。	B	新型コロナウイルス感染拡大の影響で厳しい経営状況であるが、施設の管理・運営は支障なく行っている。	B	【年間を通して健全な経営状態を維持した】		
施設の運営において公共性、公平性、公正性が図られているか	開館日数 350日/年	-	年度末の数値をもって評価する。	第一四半期 75日 ※4月27日～5月31日(35日間) 臨時休館 ただし、休館期間中も宣言以前から予約中の興行等は主催者と協議の上、安全に十分注意して、国や都の開催制限を遵守して実施した(19日間)	-	第二四半期 92日 (累計 167日)	-	第三四半期 89日 (累計 256日)	B	【会館日数実数：年間343日】 (第四四半期)87日			
	定量的 設備点検 26回/年 (設備12回、舞台設備10回、消防設備2回、高所作業1回、ITV設備1回)	-	年度末の数値をもって評価する。	第一四半期 7回 【設備3回、舞台設備2回(舞台2回)、ITV設備1回、消防設備1回】	-	第二四半期 6回 【設備3回、舞台設備3回(舞台1回、照明1回、音響1回)】 累計：13回	-	第三四半期 7回 【設備3回、舞台設備3回(舞台2回、照明1回)、高所作業1回】 累計：20回	B	各種点検は適切に実施されており、結果を修繕や保全計画に活かしている。 【設備点検実績：年間26回】 (第四四半期)6回 【設備3回、舞台設備2回(舞台1回、音響1回)、消防設備1回】			
	ピアノ等備品点検 12回/年 (ピアノ 保守点検2回、定期調律10回)	-	年度末の数値をもって評価する。	第一四半期 4回 (保守2回、調律2回) 試弾9回	-	第二四半期 3回 累計：7回 (調律3回) 試弾9回	-	第三四半期 2回 累計：9回 (調律2回) 試弾4回	A	目標の達成に加え、独自にプロの演奏家によるピアノの試弾を行いコンディションを維持している。指定管理者のノウハウを活かした取組であり、評価できる。 【ピアノ等備品点検：年間12回実施。さらにピアノの品質保持のため試弾を年間29回行った。】 (第四四半期実績)3回(調律3回) 試弾7回 プロによる試弾を2月に行った。ピアノのコンディションは良く、響きも素晴らしいとの評価を得た。			
	利用者が公平に施設利用ができるよう、配慮されていること	B	開館日数、開館時間は守られているか 【確認資料例：条例、規則・日報、月報・事業報告書】	B	政府の緊急事態宣言発令により、八王子市からの要請に基づき、4月27日～5月31日(35日間)休館とした。ただし、休館期間中も宣言以前から予約していた興行等は主催者と協議のうえ、安全に十分注意して、国や都の開催制限を遵守して実施した。	B	第二四半期は緊急事態宣言中を含め臨時休館等もなく、開館日数、開館時間ともに計画通り実施した。	B	第三四半期は開館日数、開館時間ともに計画通り実施した。	B	新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、休館や利用時間の短縮など制限を行ったが、適切に対応していた。 【新型コロナウイルスの影響による休館期間もあったが、年間を通して適切に開館した】		
	減免の申請手続がなされた場合、適正に処理されているか(※該当の場合) 【確認資料例：減免申請書・事業報告書・減免申請に係る帳簿】	B	減免の申請手続がなされた場合、適正に処理されているか(※該当の場合) 【確認資料例：減免申請書・事業報告書・減免申請に係る帳簿】	B	第一四半期での実績なし	B	第二四半期 1件(累計1件) (9/6リハーサル室：八王子視覚障害者福祉協会)	B	第三四半期 1件(累計2件) (10/13ホール：八王子視覚障害者福祉協会)	B	【減免申請：年間2件申請があった。いずれも適正に対応した】		
	文書の管理・保存が適切に行われているか 【確認資料例：ファイル基準表(なければそれに準ずるもの)・実地調査】	B	文書の管理・保存が適切に行われているか 【確認資料例：ファイル基準表(なければそれに準ずるもの)・実地調査】	B	ファイル基準書を作成し、継続的に文書の管理・保存に努めている。	B	ファイル基準書を作成し、継続的に文書の管理・保存に努めている。	B	ファイル基準書を作成し、継続的に文書の管理・保存に努めている。	B	【年間を通して文書の管理・保存に努めた】		
	施設の公共性、公平性について継続性が保たれているか	A	設備の状況を的確に把握し、かつ適切な対応により、設備が良好な状態に保たれている。指定管理者の特性を活かした取り組みであり、積極的に評価したい。 【確認資料例：事業報告書・実地調査】	A	令和2年度より、油性スモークによる汚れ対策として、舞台空調機フィルター交換周期年6回を年12回に変更。また、空調機内壁面に汚れが付着していた場合は除去作業を行った結果、今年度のメーカー点検者より、他施設のスモーク使用のある空調機と比較し、綺麗な状態であるとのコメント有り。引き続き、維持管理に努めたい。	A	設備の部品の製造状況まで考慮し、今後の修繕計画を作成した。より実情に即した修繕計画となり、また市の予算編成にも役立てられる。 設置から10年経過し、部品・部材等の製造中止が始まっている各機器の劣化状況の把握・劣化の予測を行い、設備長寿命化を目的とした今後5年間の修繕計画の作成を行った。	A	施設内の不具合箇所や美観に着目し、整備計画を作成するとともに、予防保全を図った。施設を常に最適な状態に保とうとする積極的な姿勢を評価したい。 施設内建物不具合箇所を確認し、施設美観整備計画を立てた(実施は1月を予定)また、施設内備品設置状況を確認し、壁面等への破損防止策を行い、予防保全を行った。	A	指定管理者のノウハウを活かし、細かいところまで施設の保全がなされている。不具合や修繕の状況は、適切に市に報告されており、安心して管理運営を任せることができると感じている。 【年間を通して修繕等の施設保全を適切に行った】 第四四半期は、主催者側・来場者側トイレの壁面キットサポート塗装やドコモ電波増幅器用配線・電源工事(2系統)、客席座面洗浄(17箇所)など、計12件の修繕を実施した。		
	備品の管理が適切に行われているか 【確認資料例：備品台帳・実地調査】	B	備品の管理が適切に行われているか 【確認資料例：備品台帳・実地調査】	B	日常業務の中で、適切に管理している。 第一四半期 備品修理1件	B	日常業務の中で、適切に管理している。 第二四半期 備品修理2件(累計：3件)	B	日常業務の中で、適切に管理している。	B	【備品修理：年間3件実施した。年間を通して備品の管理を適切に行った】		

令和3年度モニタリングシート【J:COMホール八王子】

視点	評価項目	6月			9月			12月			3月(年間)		
		所管課 評価	所管課 コメント	指定管理者 自己評価(コメント)	所管課 評価	所管課 コメント	指定管理者 自己評価(コメント)	所管課 評価	所管課 コメント	指定管理者 自己評価(コメント)	期末 評価	所管課 コメント	指定管理者 自己評価(コメント)
施設のサービス向上、利用者の増加等を図る方策が図られているか	利用人数 16万人/年	施設来場者数の増加を図る。	-	年度末の数値をもって評価する。	32,080人	-	27,734人 (累計:59,814人)	-	61,150人 (累計:120,964人)	B	目標を達成したものの、A評価とする基準に満たなかったため、B評価とした。	【利用者数:年間163,920人】 (第四四半期実績)42,956人	
	時間延長利用件数 100件/年	市民サービス・興行利用等への対応	-	年度末の数値をもって評価する。	25件	-	17件 (累計:42件)	-	42件 (累計:84件)	A	目標値の120%以上で達成したため、A評価とした。	【時間延長利用件数:年間120件】 (第四四半期実績)36件	
	興行系公演の誘致活動 30件/年	鑑賞機会の提供と市民の興味を喚起する。	-	年度末の数値をもって評価する。	13件	-	8件 (累計:21件)	-	10件 (累計:31件)	A	指定管理者のネットワークを活かして様々な公演を誘致し、目標を達成した。	【興行系公演の誘致実績:年間37件】 (第四四半期実績)6件	
	舞台人件発注(ワンストップサービス)件数 20件/年	ワンストップサービス～サービス窓口の一元化による利用者の利便性の向上を図り、催し物の内容に応じて特に専門性の高い舞台人件等の利用者要望に対応する。	-	年度末の数値をもって評価する。	第一四半期での実績なし	-	第二四半期での実績なし	-	8件	B		【ワンストップサービス対応件数:年間16件】 (第四四半期実績)8件	
	ホームページアクセス件数 30万件/年	八王子市民会館に適した特徴のあるホームページとするとともに、効果的な運営を行う。	-	年度末の数値をもって評価する。	99,932件	-	77,326件 (累計:177,258件)	-	88,747件 (累計:266,005件)	A	積極的に情報発信に努めており、目標を上回ったことを評価したい。	【ホームページアクセス件数:年間378,022件】 (第四四半期実績)112,017件	
	利用者満足度 90%/年	施設利用者の満足度の向上を図る。	-	年度末の数値をもって評価する。	100.0%	-	100.0% (累計:100.0%)	-	98.3% (累計:99.1%)	A	施設を使って催しなどを開催した利用者の満足度であるが、高い水準にあり、大いに評価できる。	【利用者満足度:年間99.3%】 ※利用者アンケート149枚回収中148枚満足 (第四四半期実績)100.0%	
	指定管理者が行う自主事業の参加者満足度 80%/年		-		第一四半期での実施なし	A	コロナ禍もあり、実施には様々な難しさがあったと思うが、無事実施し、高い満足度を得たことを評価したい。	-	第三四半期での実施なし	B	新型コロナウイルスの感染状況により、都度、事業実施の可否を判断しなければならず、準備や出演者との調整など、平時に比べ大変だったと推察される。目標を達成したことからA評価としたいところだが、基準に満たないため、B評価とした。	【参加者満足度:年間94.6%】 (第四四半期実績) 1/7 ロビーコンサートvol.1 98.0% 2/14 ロビーコンサートvol.2 97.0% 3/6 響き渡るワタシvol.11 90.0% 3/14 ロビーコンサートvol.3 82.7% 2/12 第10回吹奏楽の響演“響き渡る”は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止とした。	
指定管理者が行う参加型事業への参加者数 1,500名/年		-	年度末の数値をもって評価する。	第一四半期での実施なし	-	8/8 化石を探そう?:136名 8/27 第8回避難訓練体験コンサートは新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止とした	-	第三四半期での実施なし	-		【自主事業への参加者数:年間376名】 (第四四半期実績) 1/7 ロビーコンサートvol.1:64名 化石を探そう?:8名 2/14 ロビーコンサートvol.2:42名 化石を探そう?:15名 3/6 響き渡るワタシvol.11:20名 3/14 ロビーコンサートvol.3:76名 化石を探そう?:15名 2/12 第10回吹奏楽の響演“響き渡る”は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止とした		
利用者からの苦情処理の体制がとれていること	利用者等からの相談及び苦情に適切に対応しているか 【確認資料例:相談、苦情をまとめた整理帳簿】	-		第一四半期では利用者等からの相談、苦情は無かった。	B	指定管理者ではなく、利用者側に起因する苦情であるが、適切に対応し、再発防止に努めている。	B	苦情を受け止め、すでに改善に向けた取り組みを行っている。	B	1月の苦情は、イベント主催者が来場者の誘導まで手が回らなかったため、ビルの共用部に人があふれ、混雑したものである。主催者との事前打ち合わせで、来場者の誘導や動線確保について周知しているが、再度徹底すること。	【年間を通して利用者からの苦情、相談に適切に対応した】 第四四半期では、1月に一般のお客様から「4F共有部分がホール公演の来場者で混雑しており、南口総合事務所まで行くのが大変だった」との苦情をいただいた。開場中、南口総合事務所までの動線確保にご協力頂くよう呼びかけた。今後も打合せ時に混雑防止の徹底をお願いする。		
施設稼働率	利用料金収入 125,210千円/年	-	年度末の数値をもって評価する。	29,146千円	-	21,665千円 (累計:50,811千円)	-	32,481千円 (累計:83,292千円)	B		【利用料金収入実績:110,430千円】 (第四四半期実績)27,138千円		
事業の達成目標が明確で、具体的な事業計画に基づいて事業が行われているか	地域連携事業 10件/年	地域活動や地域産業と連動したイベントなどへの協力	-	年度末の数値をもって評価する。	第一四半期での実施なし (第二四半期では市内中学校の職場体験の受け入れを予定している)	-	市内中学校の職場体験の受け入れ:1件 ※新型コロナウイルス感染拡大の影響により 職場体験の受け入れ3件中止	-	八王子いちよう祭りへの協賛、八王子市学園都市文化ふれあい財団へポスター貸出協力、日本工学院八王子専門学校卒業ライブ体験授業受け入れ:3件 (累計4件)	-	新型コロナウイルスの影響により、目標を大きく下回った。やむを得ない理由によるものであり、本項目については評価対象外とする。	【地域連携事業件数:年間5件】 (第四四半期実績) 市内中学校の職場体験の受け入れ:1件	
	チケット販売割合 45% / 年 (販売枚数を全体の取り扱い枚数で除して算出する)	(公財)八王子市学園都市文化ふれあい財団へのチケット販売協力	-	年度末の数値をもって評価する。	47.0%	-	50.6% (累計:49.7%)	-	49.9% (累計:49.8%)	B	目標を達成したものの、A評価の基準に達しなかったため、B評価とする。	【チケット販売割合実績:年間47.6%】 (第四四半期実績)42.6%	
	市民優先利用団体 60団体/年	八王子の市民団体に優先的に利用してもらえるよう抽選会に市民枠を設定	-	年度末の数値をもって評価する。	14団体	-	11団体 (累計:25団体)	-	25団体 (累計:50団体)	B		【市民優先利用団体:年間59団体】 (第四四半期実績)9団体	
	市民利用(一般利用) 70%/年	市民利用増加の方策を講じる。	-	年度末の数値をもって評価する。	32.7% ※新型コロナウイルス感染拡大の影響により 市民利用28件キャンセル	-	72.9% (累計:52.0%)	-	77.0% (累計:62.6%)	B		【市民利用(一般利用)率:年間63.9%】 ※ホール利用233件うち149件が市民利用 (第四四半期実績)67.8% ※新型コロナウイルスの影響により、キャンセル(還付)した催事日数35日うち17日が市民利用(後から利用が入った日数は除く)	
	鑑賞事業への来場割合 70%/年 (来場者数を使用座席数で除して算出する)	鑑賞機会の提供と市民の興味を喚起する。	-	年度末の数値をもって評価する。	71.0%	-	83.6% (累計:75.9%)	-	84.0% (累計:79.9%)	B	目標を達成したものの、A評価の基準に達しなかったため、B評価とする。	【鑑賞事業利用率:年間77.2%】 ※のべ座席数87,800席うち67,790名が来場 (第四四半期実績)71.1%	
	施設の稼働率 90%/年	八王子市民会館利用の誘致・拡大を図る運営を行う。	-	年度末の数値をもって評価する。	82.0%	-	59.5% (累計:69.3%)	-	86.4% (累計:75.6%)	B		【施設の稼働率:年間76.5%】 ※利用可能日293日うち224日利用 (第四四半期実績)79.2% ※新型コロナウイルスの影響により、キャンセル(還付)した催事日数35日(後から利用が入った日は除く)を含むと88.4%	

令和3年度モニタリングシート【J:COMホール八王子】

視点	評価項目	6月			9月			12月			3月(年間)			
		所管課 評価	所管課 コメント	指定管理者 自己評価(コメント)	所管課 評価	所管課 コメント	指定管理者 自己評価(コメント)	所管課 評価	所管課 コメント	指定管理者 自己評価(コメント)	期末 評価	所管課 コメント	指定管理者 自己評価(コメント)	
事業の達成目標が明確で、具体的な事業計画に基づいて事業が行われているか	本市の文化芸術振興に向けた管理運営がされていること	B		政府の緊急事態宣言発令により、4月27日～5月31日の間臨時休館となった。昨年度は実施できなかった自主事業「避難訓練体験コンサート」や「J:COMホールで化石を探そう?」の開催に向けて準備を進めている。また、2021年11月開催予定の名古屋市民会館との連携事業について、八王子市学園都市文化ふれあい財団とジェイコム東京と共同でコンサート告知やチケット販売に協力している。	A	施設の特性を活かし、市民に身近な文化施設として親しまれるよう、工夫を凝らして自主事業を行っている。コロナ禍にあり、対応が難しい部分もあったと思うが、積極的に取り組まれている。	緊急事態宣言中ではあったが、コロナ対応ガイドラインを遵守し一部内容を変更して8/8に「J:COMホール八王子で化石を探そう?」を実施した。ホワイエの一般開放を行い、市民の方々に壁や床に使用している石材に含まれる化石について周知する機会を設け、来場者数は58名であった。あわせて国立科学博物館の講師によるトークイベントを行い、78名(うち小学生31名)が参加した。アンケートでは楽しかったという声や「また来たいたい」という声もあり、化石イベントが少しずつ認知されていることが感られた。より身近な施設として親しみを持っていただく機会となった。8/18の「トイトイ オーケストラ!」では、八王子市学園都市文化ふれあい財団と連携し、バックステージツアーに協力した。また、9/13～18まで南口総合事務所で開催入りポスター展を行い、約60名が来場した。	A	指定管理者のネットワークを活用して、他自治体のホールと連携した文化芸術事業を行った。市民に質の高い文化芸術事業を提供するとともに、会館の認知度向上にもつながる取り組みであり、評価したい。	名古屋市民会館との連携事業として、11/27にフジコヘミングコンサートを実施し、好評をいただいた。来年も他会館との連携できる興行を積極的に誘致したい。また、来年1/7、2/14、3/14に予定しているロビーコンサートに向けてチラシやポスターを制作したい。ロビーコンサートと合わせて、ホワイエの一般開放を行い、市民の方々に壁や床に使用している石材に含まれる化石について周知する機会を設ける予定。	A	人気の自主事業である高校生による吹奏楽イベント「響き渡る」が参加校の辞退などもあり、中止となったことは残念であるが、新たな取り組みとして「SEASON'Sコンサート(ロビーコンサート)」を実施し、好評を得た。また、同日に「J:COMホール八王子でもういちど化石を探そう?」を実施した。2/12に「第10回東京都高等学校吹奏楽の響演」響き渡る」の開催を予定していたが、コロナウイルス感染拡大防止のため中止した。3/6には「響き渡るワ・タ・シvol.11～私のためのコンサート～」を開催した。市民の皆様にスライムエイブアとJ:COMホール八王子の響きを堪能していただく機会を提供できた。参加者アンケートでは今後も続けてほしいという声を多数いただいた。		
	「環境にやさしい八王子市役所エコアクションプラン」及び「八王子市役所環境マネジメントシステム」に基づく、環境に配慮した管理・運営が行われているか【ヒアリング等で確認】	B		前年に引き続き、ホワイエの植物や花などを季節ごとに替え、季節感あふれる環境づくりに配慮している。また、子安町4丁目の町内清掃活動に参加し、地域での保全活動に取り組んでいる。維持管理委託先に対し、報告書等は可能な限り両面印刷を要する。また、台紙や特殊クリップ等での対応不要の連絡を行い、施設から出る廃棄物削減に努めた。	A	手指消毒用のアルコールにより、床等にシミが生じることがあるが、環境に配慮したアルコールイオン水を活用して、シミの除去を行った。指定管理者が持つノウハウを活かした取り組みであり、評価したい。	前年に引き続き、ホワイエの植物や花などを季節ごとに替え、季節感あふれる環境づくりに配慮している。客席席に付いたアルコールの染み(客席利用者によるコロナ対策)を落とす際に使用する薬剤を、剥離剤からアルコールイオン水に変更し、環境に配慮した対策を行った。また、8/19のエコアクション21研修に維持管理スタッフ1名が参加した。	前年に引き続き、ホワイエの植物や花などを季節ごとに替え、季節感あふれる環境づくりに配慮している。同様に恒例のクリスマスツリーの展示を4Fエントランスホワイエで行なった。	B		B	【年間を通して環境に配慮した施設の管理運営を行った】(第四四半期末実績)前年に引き続き、ホワイエの植物や花などを季節ごとに替え、季節感あふれる環境づくりに配慮している。		
	資源の有効活用など環境に配慮した管理運営がされていること	B		前年に引き続き、下記対応により、電気使用量削減を継続実施中。 ・イベントに沿った空調スケジュール管理 ・日常清掃時、日照時間・天候にあわせて照明点灯を管理 ・貸館状況にあわせて清掃員シフト変更を適宜行い、照明点灯時間の短縮管理。 コロナ対策として冬場対応として温水器の運転行っていたが、外気が上昇した為、温水器停止を行った。	B		下記対応により、電気使用量削減を継続中。 ・日常清掃時、日照時間・天候にあわせて照明点灯を管理 ・貸館状況にあわせて清掃員シフト変更を行い、照明点灯時間の短縮。 ・コロナ対策(充分な換気対策)により、空調機運転時間の延長を行う中、外気取入れの設定変更を適宜実施中。	B		B	B	【年間を通してエネルギーの使用削減施策を実施した】第四四半期は下記対応により、電気使用量削減を図った。 ・日常清掃時、日照時間・天候にあわせて照明点灯を管理 ・貸館状況にあわせて清掃員シフト変更を行い、照明点灯時間の短縮。 ・コロナ対策(充分な換気対策)により、空調機運転時間の延長を行う中、外気取入れの設定変更を適宜実施。 ・LED更新による電気使用量削減(実施対象箇所について約33%削減を図った)。		
個人情報保護管理及び危機管理が図られているか	防災訓練 4回/年(総合訓練1回、部分訓練2回、緊急連絡網テスト1回)	-	年度末の数値をもって評価する。	第一四半期での実施なし	-	7/27 サザンスカイトワー八王子防災訓練参加(部分訓練) 8/27 会館スタッフによる防災訓練の実施(総合訓練) 9/1 共立本社を含む緊急連絡網のテスト(部分訓練)	-		-	11/26 サザンスカイトワー八王子防災訓練参加(部分訓練)	A	目標を上回る回数訓練を行い、危機管理意識を高めた。目標値の120%以上で達成したため、A評価とする。	【防災訓練回数:年間5回】(第四四半期末実績)3/16 共立本社を含む緊急連絡網のテスト(部分訓練)	
	危機管理・安全管理関連研修 2回/年	-	年度末の数値をもって評価する。	第一四半期での実施なし	-	第二四半期での実施なし	-		-	第三四半期での実施なし	A	目標を上回る回数研修を行い、危機管理意識を高めた。エレベーターの点検機会を活用してメーカーの技術者から説明を受けるなど、工夫もみられる。目標値の120%以上で達成しているため、A評価とした。	【危機管理・安全管理関連研修回数:年間3回】(第四四半期末実績)1/17ハログン消防設備動作説明会(5名参加) 1/28労働安全衛生法一部改正に伴う劇場空間における安全作業についての研修(2名参加) 3/15 エレベーター研修(6名参加)	
定性的	個人情報の取り扱いが適切であること	B		情報の徹底管理を継続して実施した。市や事業体各社から提供される情報を全職員で共有し、意識の向上に努めている。また、各パソコンにパスワードを設定、個人情報記載された書類は鍵をかけて保管(鍵は館長が保管)している。さらに、事務所内の関係者以外の無断入室を禁止している。	B		情報の徹底管理を継続して実施した。市や事業体各社から提供される情報を全職員で共有し、意識の向上に努めている。また、各パソコンにパスワードを設定、個人情報記載された書類は鍵をかけて保管(鍵は館長が保管)している。さらに、事務所内の関係者以外の無断入室を禁止している。9/21には個人情報保護研修を行い、ホールスタッフ10名が参加した。	B		B	B	【年間を通して個人情報の適切な管理に努めた】情報の徹底管理を継続して実施した。市や事業体各社から提供される情報を全職員で共有し、意識の向上に努めている。また、各パソコンにパスワードを設定、個人情報記載された書類は鍵をかけて保管(鍵は館長が保管)している。さらに、事務所内の関係者以外の無断入室を禁止している。		
	指定管理者が加入しなければならない保険に加入しているか【確認資料例:保険証券】	B		本年度も各種保険に加入した。保険適用の案件は発生しなかった。	B		保険適用の案件は発生しなかった。	B		B	B	保険適用の案件は発生しなかった。		
定性的	緊急(防火・防犯等)対応等危機管理体制が取られていること	A		8月開催予定の避難訓練体験コンサートに向けて、早稲田大学及び東北工業大学と連携しながら、より実践的な誘導員の配置について検討している。今年度は新たな試みとして英語版のポスターを作成し、外国人の来場者を想定した避難訓練を計画している。前年に引き続き、コロナ対策で除菌の効果がある洗剤「Q128」を継続使用中。また、Q128の改良洗剤「ウルトラサイトRTU」を購入し、緊急を要する際の洗浄剤として館内で保管。(改良内容:不活性化に要する時間10分→1分)都内で発生した二酸化炭素消火設備の放出事の翌日、ホール内に設置されたハログン化物消火設備対象箇所への注意喚起と指示を行う。また、6月の消防設備点検の際、維持管理2名で煙検知からガス発生までの動作状況を見学。今後はホールスタッフが参加出来るよう、防災センターへ依頼中。	A	新型コロナウイルスの影響により、避難訓練体験コンサートが実施できなかったが、それでもスタッフのみで訓練を行ったこと、防火シャッターを自動させるなど、実践に即した内容で、緊急時に備えている点は評価できる。	緊急事態宣言の延長により8月に予定していた避難訓練コンサートは本年度実施しないこととしたため、ホール内全ての防火戸と防火シャッターを降ろし、実際の火災時のホール内を各スタッフが体験する状況を作った。災害時の避難誘導や初期消火活動がスムーズに行えるよう、各スタッフの熟練度の向上に努めた。前年に引き続き、コロナ対策で除菌の効果がある洗剤「Q128」を継続使用中。エスカレーター手摺の除菌コーティング処理を行い、施設内衛生の改善を行った。維持管理担当では、施設内の危険箇所の洗い出しと対策を行った(危険マップの作成・作業前後ミーティング資料の見直し)	A	大規模公演における来場者の歩行、流動状況の計測を行う調査に協力し、そこでの結果を今後の安全な施設運営に役立てようとする。コロナ対策にも意識高く取り組んでおり、評価できる。	A	11月のフジコヘミング公演の際、早稲田大学佐野教授からの依頼に基づき、入場流動調査(もぎり等での人の動きの調査)に協力した。後日、フィードバックのミーティング予定。また、11月にサザンスカイトワー八王子の防災訓練に参加し、緊急時の危機管理体制について確認した。前年に引き続き、コロナ対策で除菌の効果がある洗剤「Q128」を継続使用中。令和2年度に実施した抗菌作業の効果を検証するため、毎月1回、数値の計測を行っている。今年度の抗菌作業後も継続して行う予定。	A	大地震が発生した際には、恐らく多くのエレベーターで閉じ込めが発生すると想定し、その際に、メーカーに頼らず自ら対応できるようにするため、研修を企画したとのこと。危機管理意識の高さを評価するとともに、研修費用が発生しないように定期点検時にメーカーから説明してもらえるよう調整するため、毎月1回、数値の計測を行っている。今年度の抗菌作業後も継続して行う予定。	【事故等への対応を適正に行うとともに、災害発生時に備え体制を整えた】(第四四半期末実績)・令和2年度から引き続きコロナ対策として、1月に客席・備品の抗菌化を行った。また、前年に引き続き、コロナ対策で除菌の効果がある洗剤「Q128」に加え、「ウルトラサイトRTU」「ハイジェニック除菌クリーナー」を継続使用中。 ・3月に東芝エレベーターによるエレベーター研修を行い、緊急時にエレベーター閉じ込めが発生した場合の対応について確認した。 ・清掃スタッフ実技研修の中で、ヒヤリハットを取り上げ、作業中の事故防止への理解を深めた。

B

期末総合評価	
所管課コメント	<p>【施設の管理・運営を安定して行うことができるか】有資格者の配置、職員への各種研修の実施、指定管理業務に係る経理状況などいずれも適正であった。指定管理者のノウハウやネットワークを活かし、安定的に施設の管理運営が行われている。</p> <p>【施設の運営において公共性、公平性、公正性が図られているか】開館日や開館時間は新型コロナウイルスの感染拡大防止に向けた市の決定に沿った対応がなされていた。設備・備品の点検や修繕、減免申請への対応など、いずれも適切に行われている。設備や備品の管理においても指定管理者の強みが活かされており、快適に施設が利用できる環境が整えられている。</p> <p>【施設のサービ向上、利用者の増加等を図る方策が図られているか】新型コロナウイルスの影響があるものの、利用者数は大幅に増加し約16万4千人と目標を上回った。一方で、自主事業への参加者数は、一部事業の中止や外出自粛の影響などから目標を大幅に下回った。利用者満足度は、引き続き高い水準を維持しており評価できる。</p> <p>【事業の達成目標が明確で、具体的な事業計画に基づいて事業が行われているか】新型コロナウイルスの影響により、施設の稼働率(利用率)は目標に達しなかったものの、昨年度の53.6%を大きく上回る76.5%と今後期待できる結果となった。</p> <p>【個人情報保護管理及び危機管理が図られているか】個人情報の管理は適切になされており、また、危機管理についても高い意識を持って指定管理業務に臨んでいる。他の施設での事故や不具合の情報共有や、地震発生時に起こり得る被害を想定し研修するなど、積極的に取り組んでおり評価できる。</p> <p>【総括】本年度も、指定管理者が持つ知識、スキル、ネットワークを活かし、八王子市民会館が魅力的な施設となるように全般的によく取り組まれていた。市や関係機関との情報共有や連携も図られており、ソフト面、ハード面のいずれにおいても施設の管理運営を安心して任せることができた。新たに(公財)八王子市学園都市文化ふれあい財団が指定管理者加わり、文化芸術のさらなる振興に向け体制が強化された。今後の展開に期待したい。</p>